

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本銀行

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・グループ企業共通の経営理念を明文化し、進むべき方向性を共有している。 ・経営者は従業員に向けて定期的にメッセージを発信し、組織風土の維持・向上に努めている。									8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令や世間一般で常識とされている社会規範を遵守することをコンプライアンスマニュアルとして定めている。 ・コンプライアンス研修を定期的の実施し、従業員への啓発を行っている。																		16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・利益相反管理方針を定め、顧客の利益が不当に害されることのないよう、適切な取組みを行う態勢を確保している。														10					16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・業務毎に担当者・責任者を任命し、事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響を評価する体制作りを進めている。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・法令やルールを厳格に遵守し、社会規範に則った誠実かつ公正な企業活動を遂行するとともに、顧客の正当な利益の保護や利便性の向上にむけた継続的な取組みを行う態勢の確保に努めている。									8.2	8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・お客様の個人情報等の保護に関する関係法令、ルールおよび次に掲げる取組方針を遵守することを個人情報保護宣言として、宣言し、適切な個人情報管理に努めている。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的なアンケートや顧客の声を大切にする等、双方向コミュニケーションに努め、収集した意見・要望を経営改善に活かしている。また、要望にお応えした事例をHP上で公開している。 ・取引先や地域社会など、ステークホルダーと連携した積極的なコミュニケーション活動に取り組んでいる。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・投資に関して、地球温暖化防止に向けた国際社会の要請や、持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みへの期待を踏まえた「環境・社会に配慮した融資の取組み方針」を「与信の基本方針(クレジットポリシー)」に明記し、取引先企業と問題意識の共有に取り組んでいる。					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・技術的災害(システム障害・停電等)、自然災害(地震・風水害等)・火災、人為的災害(強盗・テロ等)、風評等が発生した場合、感染症、サイバー攻撃等が発生または発生が予想される場合の行動基準等を定め、訓練や見直しを実施している。											9		11			13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・経営者の高齢化が進むなか、事業承継は企業や地域社会にとって重要な課題と認識している。当行では、お取引先の事業承継の課題解決に向けた体制を構築し、外部の専門家とも連携しながら、各種事業承継メニューを提供している。									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・原産地では仲介業者の買い叩きにより多くの農家が苦しんでおり、子供たちが厳しい労働環境で働かされている現実を認識したうえで、フェアトレード商品の購入に協力している。	1	2			5				8					12	13	14	15	16	17
労働	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3	5.1				8.5					10.2			16.1	16.2	16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会毎月実施し、情報共有している。 ・本部が年間を通して営業店を訪問し、安全で衛生的な職場環境の整備に努めている。			3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正行員・嘱託・パートタイマー)の公正な待遇を行っている。					5.5				8.5					10.2	10.3				
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間、有給休暇の取得状況を管理している。 ・育児・介護との両立を図るため時短勤務ならびに在宅勤務ができる環境づくりに取り組んでいる。 ・ボランティア休暇制度(有給)の整備。			3		5.5				8.5	8.8				10.3					
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・各世代、役職ならびに各部門の研修体制を整備している。 ・外部研修の受講費補助、資格取得の報奨金制度を実施している。 ・部下の能力開発、自立と主体的な成長を促すことを目的とした上司と部下の1on1ミーティングを実施している。				4	5.5				8	9									

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本銀行

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・交通事故を防ぐため定期的に研修・注意喚起を行っている。 ・従業員の健康維持向上を呼び掛け、定期的に全行員へ健康セミナーの実施。 ・人間ドッグ、歯科検診、インフルエンザ予防接種の費用補助ならびに特定保健指導事業の実施を行っている。			3						8										17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・仕事と生活のバランスをとりながらキャリアを積み、さらに活躍できる両立支援制度を拡充している。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。		●	・在宅勤務(テレワーク等)、出勤方法の変更を認めるなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・ウェブ会議、対面会議時の換気、会議時間短縮などを徹底している。									8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・DXの推進により、非対面営業の拡大や契約書・伝票の電子化によるペーパーレス化に取り組んでいる。 ・社員のテレワークを推進している。										8	9.1		11	12					
	21	【ブライ企業】 ・ブライ企業に認定されている。		●	・ブライ企業に認定されている。			3	4						8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本銀行

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力消費量については、全店分の月別使用料を入力し、前年度と比較するなど、オフィスの節電に取り組んでいる。 ・クールビズ、ウォームビズやライトダウンによる節電に取り組んでいる。							7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・Scope1、2の排出量について把握しており、当社グループ全体の排出量を開示している。 ・社用車は軽自動車、または普通車の場合は全てハイブリッドを購入するなど、CO2の排出抑制に取り組んでいる。			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境負荷の抑制・軽減に努め、環境に配慮した商品・サービスを提供している。					6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペットボトル等の資源ごみを確実に分別しリサイクルに取り組んでいる。 ・不要の文具類を取り纏め、再使用している。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内の水道にステッカーを貼るなど節水に努めている。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入及びペーパーレス化による紙使用量削減に取り組んでいる。										9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2			6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		・原則として、従業員は公共交通機関による通勤としている。									9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本銀行

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・新規業務の開始や新規商品の取扱い等を行う場合は、協議のうえ、内在するリスクを特定・評価し、それらが受容可能なものかを検討している。 ・お取引先・従業員からの意見を積極的に収集し、サービスや品質の向上に努めている。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・商品やサービス及び店舗等において、ユニバーサルデザインを考慮している。 ・店舗にAED、車椅子等のユニバーサルツールを配置している。 ・店舗に「サービス介助士2級」や「ユニバーサルマナー検定2級」取得者を配置し、毎年新入行員にユニバーサルマナー検定3級の取得を推奨している。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		・地方自治体が抱える課題に対して、地域金融機関として期待される役割を発揮していくため、各自治体と連携して地方創生に関連するプロジェクトやイベントの組成・運営を支援するコンサルティングを実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●		・農林水産業者向けの融資商品を揃え、事業の成長を後押ししている。			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、居住する地域の活動や行事に参画するよう奨励している。 ・ボランティア休暇制度を定め、地域貢献を目的に自主的活動を行う従業員を支援している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員にハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1			16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●		・災害復旧のための融資商品、被災時に営業を継続するために必要となった追加費用を補償する、「営業継続費用保険」が付帯された融資商品を制定している。										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		・顧客や従業員に対し、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。 ・社内でもSDGsに関する研修を実施し、役職員へのSDGsに関する意識浸透を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●		・高校生や大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。 ・学校や教育団体等と連携し、金融知識の普及を通じた出前授業や職場体験等、現場から学ぶ機会を提供している。 ・学校等と連携し、出前授業などを行っている。				4						8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●		・地元の生徒、学生を積極的に雇用している。 ・ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度を活用している。 ・若者や子供を支援する寄附・協賛などを行っている。				4.4						8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。